

各 位

会 社 名 株式会社 ジー・モード
 代 表 者 名 代表取締役社長 宮 路 武
 (JASDAQコード2333)
 問 合 せ 先
 役 職 ・ 氏 名 取締役経営企画室長 善 村 賢治
 電 話 03-5302-0606

平成 20 年 3 月 期 通期業績予想との差異および期末配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 19 年 12 月 13 日付にて発表いたしました平成 20 年 3 月 期(平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)の通期業績予想について下記の通り差異が発生いたしましたのでお知らせいたします。また、本日開催の取締役会において期末配当予想を下記のとおり修正することを決議いたしましたので併せてお知らせいたします。

記

1. 平成 20 年 3 月 期 通期業績予想数値の修正

(1) 連結業績予想の修正

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	5,210	190	30	△55
今回修正予想 (B)	4,940	80	△50	△255
増減額 (B - A)	△270	△110	△80	△200
増減率 (%)	△5.2%	△57.9%	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 19 年 3 月 期)	5,011	742	532	△89

(2) 個別業績予想の修正

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	4,860	90	120	△450
今回修正予想 (B)	4,570	△25	30	△650
増減額 (B - A)	△290	△115	△90	△200
増減率 (%)	△6.0%	—	△75.0%	—
(ご参考) 前期実績 (平成 19 年 3 月 期)	4,880	835	850	217

2. 通期業績予想の修正理由

(1) 連結業績予想の修正理由

売上高、営業利益ならびに経常利益につきましては、個別業績予想の修正による影響等により、前回予想を下回る見込みであります。

また、当期純利益につきましては、当期の業績予想と将来の利益計画を見直した結果、繰延税金資産を取崩し、法人税等調整額に計上することなどにより、前回予想を下回る見込みであります。

これにより、通期の業績予想につきましては、売上高は前回予想時より 270 百万円減少し 4,940 百万円、営業利益は 110 百万円減少し 80 百万円、経常利益は 80 百万円減少し 50 百万円の損失計上、当期純損失は 200 百万円増加し 255 百万円となる見込みであります。

(2) 個別業績予想の修正理由

売上高につきましては、主力の国内コンテンツ配信事業において、携帯電話事業者の公式メニュー改編および携帯電話への検索エンジン導入の影響を受け、当社サイトへの導線が狭窄したことなどから、課金会員数ならびにコンテンツダウンロード数が伸び悩み、計画に対して約 200 百万円未達となったことなどにより、前回予想を下回る見込みであります。

営業利益、経常利益につきましては、サーバホスティング費用、キャリア手数料などの売上連動コストや外注費などの製造コスト、新規事業関連費用などの営業費用が計画比で低減したものの、売上高が 270 百万円未達となった影響を吸収できず、いずれも前回予想を下回る見込みです。

また、当期純利益につきましては、当期の業績予想と将来の利益計画を見直した結果、繰延税金資産の回収可能性が低下したことから、取崩しを実施し、法人税等調整額に計上することにより、前回予想を下回る見通しです。

これにより、通期の業績予想につきましては、売上高は前回予想時より 290 百万円減少し 4,570 百万円、営業利益は 115 百万円減少し 25 百万円の損失計上、経常利益は 90 百万円減少し 30 百万円、当期純損失は 200 百万円増加し 650 百万円となる見込みであります。

3. 平成 20 年 3 月期 配当予想の修正

(1) 修正の内容

	1 株当たり期末配当金	1 株当たり年間配当金
前回発表予想 (平成 19 年 5 月 10 日)	1,000 円 00 銭	1,000 円 00 銭
今回修正予想	0 円 00 銭	0 円 00 銭
[ご参考] 前期実績 (平成 19 年 3 月期)	1,000 円 00 銭	1,000 円 00 銭

(2) 修正の理由

当社はこれまで、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題の一つとして位置付け、安定した配当を継続して行ってまいりました。しかしながら、上記のとおり、大幅な減益となることから、分配可能額を確保することが困難となる見込みであります。今後の財務体質の強化、及び経営環境の変化に対応するために必要な内部留保金額の確保などを勘案した結果、誠に遺憾ながら、期末配当を見送らせていただく予定であります。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能となる情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後、様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上